

附置研究会③

「胃 X 線検診のための読影判定区分の運用・評価に関する研究会」

胃 X 線検診における胃炎診断の問題点 ― カテゴリー2 を再検証する ―

座長 伊藤 高広 先生（奈良県立医科大学放射線医学教室）

山道 信毅 先生（東京大学予防医学センター）

近年、胃 X 線検査による *H. pylori* 感染診断の重要性に関する認識は定着しており、読影補助認定制度の発足により、医師・技師の共通認識として胃炎をカテゴリー2 と判定する意義の再検証が求められています。今回は胃炎診断をテーマとし、① 既・現感染の区別や A 型胃炎の鑑別など診断上の問題 ② 除菌療法への誘導や除菌後例を含めた適切な検査間隔、内視鏡検査との組み合わせなど運用面の課題など様々な視点からのご応募を期待しています。